大容量リムーバブル SCSI DVD-RAM ドライブ

DVD-RAM5.2G/A

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

- 本製品を「DVDドライブ」と表記しています。
- DVD-RAMメディア、DVD-ROMメディアを合わせて「DVD」と表記しています。
- 音楽CD（CD-DA）、CD-ROM、CD-R/RWを合わせて「CD」と表記しています。
- DVD、CD、PDカートリッジを合わせてメディアと表記しています。
- 文中［　］で囲んだ名称は、ウィンドウの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：感電注意)が描かれています。
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。

火災や感電の恐れがあります。

インターフェースケーブルは必ず本製品付属の物、または同等の物（弊社接続キット）をご使用ください。

本製品付属以外のインターフェースケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火のおそれがあります。本製品の故障の原因ともなります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け／取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

電源プラグをACコンセントに接続したまま取り付け／取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。

強 制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

禁 止

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、ACコンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

液体や異物が内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

強 制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

禁 止

レーザー光線を直視しないでください。

ディスク挿入口やトレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

⚠ 注意

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

本製品は精密な機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。衝撃は本製品の故障の原因となります。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

パソコンおよび周辺機器の電源スイッチがONの状態で、SCSIケーブルの抜き差しをしないでください。

本製品および周辺機器の故障となります。

本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

本製品の上に物を置かないでください。

傷が付いたり、故障の原因となります。

シンナー・ベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

一度OFFにした電源スイッチをONにするときは、少なくとも数秒待ってから行ってください。

本製品の故障、データの消失・破損の恐れがあります。

ヘッドホンをご使用になる場合、ボリュームを大きくしすぎないでください。

大きな音量で長時間ご使用になると、聴覚障害の原因となります。

本製品、ハードディスク、MO、フロッピーディスクドライブなどの、データの格納用機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源スイッチをOFFにしたり、リセットしないでください。

データを消失・破損する恐れがあります。データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界が発生するところ
・静電気が発生するところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・ほこりの多いところ
　→故障の原因となります。

・振動が発生するところ
　→けが、故障、破損の原因となります。

・平らでないところ
　→転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。

・直射日光が当たるところ
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　→故障や変形の原因となります。

・漏電または漏水の危険があるところ
　→故障や感電の原因となります。

DVD-RAM、DVD-ROM、CD-ROM、PD、音楽CD(以後、メディアと表記)は次の点に注意して大切にお使いください。

・直射日光を当てないでください。

・ベンジン、シンナー等の有機溶剤で拭かないでください。
　→メディアの汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。
　　必ず、中心から外側へと向って軽く拭き取ってください。

・メディアの表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。

・ほこりなどにさらさないでください。

・高温･多湿になる場所に置かないでください。

・メディアの表面に手を触れないでください。
　→メディアの両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
・メディアを持ち運ぶ際は、必ず専用ケースに入れて大切に取り扱ってください。

トレーに、メディア以外のものを載せないでください。

故障や火災の原因となります。

トレーに手を入れ、挟まれないように注意してください。

けがの恐れがあります。

トレーを出したまま放置しないでください。

内部にほこりが入り、故障の原因となります。

メディアを入れたまま移動しないでください。

本製品の動作中または、メディアを本製品に入れた状態で移動しないでください。

メディア、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずメディアを取り出し、電源スイッチをOFFにしてください。

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、メディアの再生が正常にできなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

ひびわれや変形、補修したメディアは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

アクセスランプが点灯している間は、電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしないでください。

データを消失・破損する恐れがあります。

通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。

故障の原因となります。

目 次

1 ご使用になる前に

本製品を使う前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● **多彩なメディアに対応**

DVDドライブは次のメディアに対応しています。

メディアの種類		書き込み	読み出し
DVD	DVD-RAM片面2.6GB (タイプI、タイプII) DVD-RAM両面5.2GB	○	○
	DVD-ROM	—	○
	DVD-R(*1)	—	○
PD		○	○
CD	CD-ROM	—	○
	CD-ROM XA	—	○
	CD-R/RW	—	○
	音楽CD(CD-DA)	—	○
	CD Extra	—	○
	Photo CD	—	○
	Video CD(*2)	—	○

***1　ディスクアットワンスで書き込まれたメディアにだけ対応しています。**
***2　MPEGデータを再生する場合、別途MPEG再生ボード/ソフトが必要です。**
※本製品は、DVD-VIDEOの再生には対応していません。

● **高速なデータの読み出しが可能**

DVD-ROMは最大2770KB/sec(2倍速読み出し時)、CD-ROMは最大3000KB/sec(20倍速読み出し時)でのデータ転送が可能です。

● **フロントエンドローディング機構の採用**

DVD、PDやCDなど異なるメディアをスムーズに取り扱えるフロントエンドローディング機構を採用しています。メディアを簡単に出し入れできます。

※ **8cmCD(シングルCD)を再生するときは、市販のアダプタを購入してください。**

● **「DVD-RAM TuneUp」標準添付**

DVD-RAMメディアやPDカートリッジをフォーマット(初期化)する「DVD-RAM TuneUp」(ソフトウェアアーキテクツ社製)が付属しています。

● **SCSI-2対応**

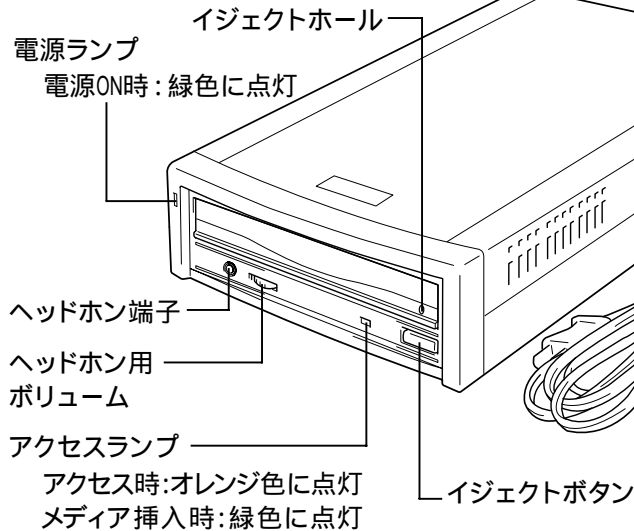
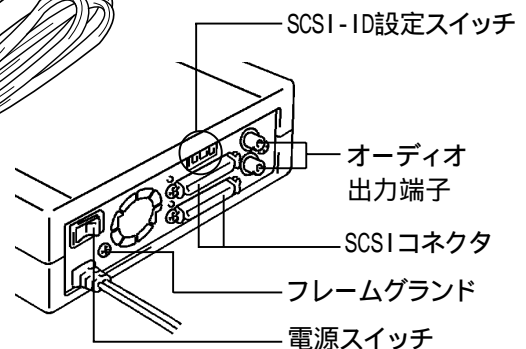
※ **DVDドライブはUltra SCSIインターフェースボードに接続しても使用できますが、この場合の転送速度は10MB/sec(理論値)となります。**

● **ヘッドホン端子、オーディオ出力端子を装備**

ヘッドホンやステレオなどのオーディオ機器を接続して音楽CDを聴くことができます。

パッケージの内容

パッケージには次のものが梱包されています。万一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

● DVDドライブ 1台

● SCSIケーブル・1m（D-subハーフピッチ50ピン凸←→D-subハーフピッチ50ピン凸） 1本

● SCSI変換コネクタ（D-subフルピッチ25ピン凸←→D-subハーフピッチ50ピン凹） 1個

● ターミネータ（D-subハーフピッチ50ピン） 1個

● DVD-RAM TuneUp
- CD-ROM 1枚
- ユーザー登録カード（ソフトウェアアーキテクツ社） 1枚

● イジェクトピン 1本

● DVD-RAMメディア（片面2.6GB） 1枚

● ユーザーズマニュアル（本書） 1冊

● 保証書、ユーザー登録はがき（株式会社メルコ） 1枚

※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。

※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

必要なパソコン環境

DVDドライブを使用するには、次のパソコン環境が必要です。
- パソコン本体 .... PowerMacintoshシリーズ、PowerMacintosh G3シリーズ（*）
- OS .... Mac OS7.6.1以降（Mac OS8.6対応）

* SCSI非搭載モデルの場合は、別途SCSIインターフェースボード（弊社製IFC－WSPAなど）が必要です。

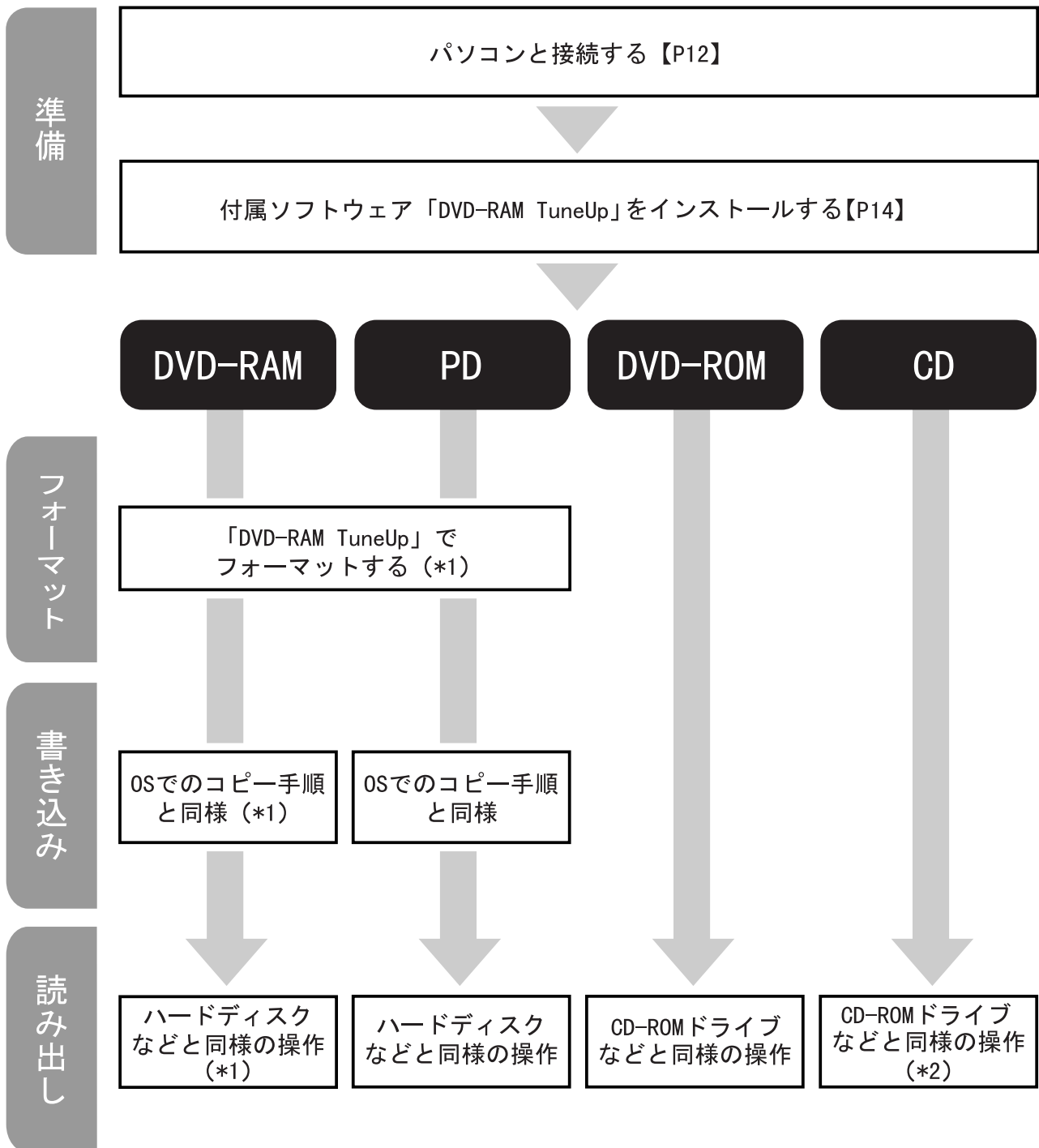
作業の進めかた

使用するディスクによって必要な作業が異なります。

準備

パソコンと接続する【P12】

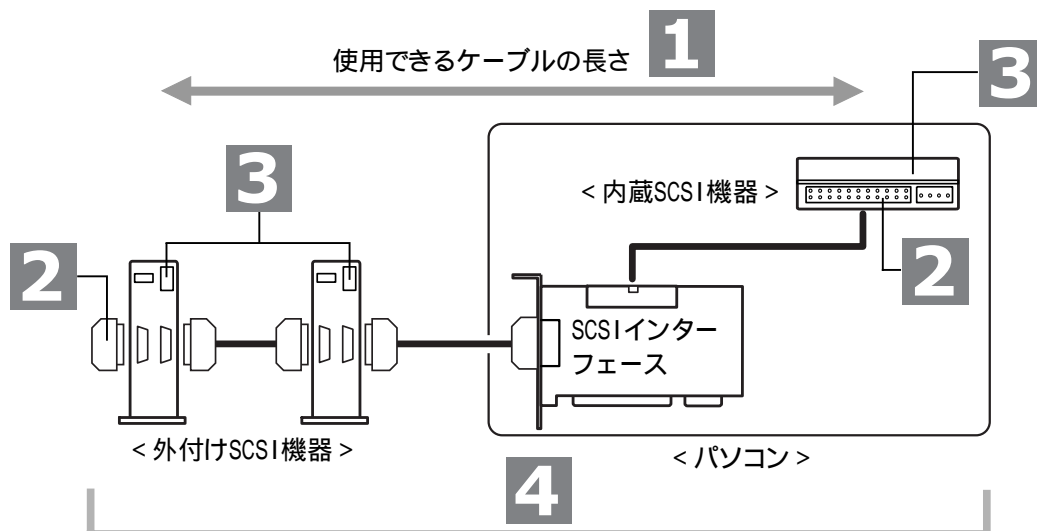
付属ソフトウェア「DVD-RAM TuneUp」をインストールする【P14】

	DVD-RAM	PD	DVD-ROM	CD
フォーマット	「DVD-RAM TuneUp」でフォーマットする（*1）	「DVD-RAM TuneUp」でフォーマットする（*1）		
書き込み	OSでのコピー手順と同様（*1）	OSでのコピー手順と同様		
読み出し	ハードディスクなどと同様の操作（*1）	ハードディスクなどと同様の操作	CD-ROMドライブなどと同様の操作	CD-ROMドライブなどと同様の操作（*2）

***1　両面のDVD-RAMメディアを使用する場合、フォーマット/読み出し/書き込みなどはメディアの向きを入れ替えながら片面ずつ行います。一度に両面にアクセスすることはできません。**
***2　MPEGデータを再生する場合、別途MPEG再生ソフトウェアが必要です。**

2 接続と準備

DVD ドライブをパソコンに接続する手順と、付属ソフトウェアのインストール方法を説明しています。

接続時の注意

DVDドライブやSCSI機器を接続する時の注意事項を、次の図の 1 ～ 4 で説明しています。必ずお読みください。

1 SCSIケーブルとコネクタ

● DVDドライブを接続するSCSIインタフェースがUltra SCSI対応かSCSI-2対応かによって、接続できるSCSI機器の台数と、接続に使用できるSCSIケーブルの長さの合計が異なります。

SCSIインターフェースの種類	接続台数	ケーブルの長さの合計(*1)
Ultra SCSIインターフェース(*2)	1～3台	3m以下
	4～7台	1.5m以下
SCSI-2インターフェース	7台まで	6m以下

*1 「ケーブルの長さの合計」には、SCSI機器の内部に配線されている部分（10～20cm程度）も含まれます。
*2 Ultra SCSI対応のSCSI機器を使用するときは、SCSI機器の台数が多くなるほどSCSIケーブルの長さの合計を短くする必要があります。ケーブルの長さが1.5mを超えるときは、Ultra SCSIインターフェースの転送速度をSCSI-2相当（理論値10MB/sec）に変更すれば、ケーブルを6mまで使用できます。転送速度の変更方法は、SCSIインターフェースのマニュアルを参照してください。

● SCSIケーブルは一般的なSCSI-2の標準に適合した物を使用してください。
　*　SCSI非搭載モデルの場合は、別途SCSIインターフェースボード（弊社製IFC-WSPAなど）が必要です。

● SCSIケーブルとSCSI機器のコネクタ形状が合っているか確認してください。
付属のSCSIケーブルはD-subハーフピッチ50ピン←→D-subハーフピッチ50ピン、SCSI変換コネクタはD-subフルピッチ25ピン←→D-subハーフピッチ50ピンです。

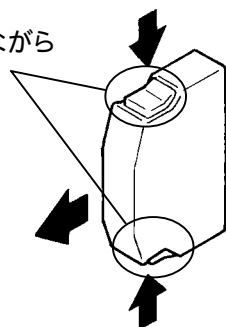
● SCSIケーブルを接続する前に、コネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。

次のページへ続く

● 接続に使用するSCSIケーブルの特性インピーダンス値を統一してください。特性インピーダンス値は、SCSIケーブルのパッケージやケーブル自体に印刷されています。弊社製SCSIケーブルの場合は、約90Ωに統一されています。

2 ターミネータ（終端抵抗）

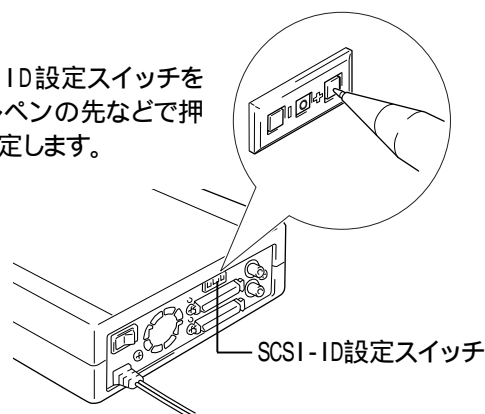
● デイジーチェーン（*）の終端に接続するSCSI機器には、必ずターミネータを取り付けてください（ターミネータ内蔵のSCSI機器の場合は、ターミネータ機能を有効にしてください）。
内蔵SCSI機器の場合も、SCSIケーブルの終端（1台目用のコネクタ）に接続するSCSI機器は必ずターミネータ機能を有効にしてください。
* 複数のSCSI機器をケーブルで直列につないだ状態

● SCSIケーブルやターミネータを取り外すときは、クランパ（2箇所）を押さえながら引き抜いてください。
SCSIケーブルやターミネータを取り付けるときは、カチッと音がするまでしっかり差し込んでください。

3 SCSI-ID

● 同じSCSI-IDを複数のSCSI機器に割り当てないでください。ただし、複数のSCSIインターフェースを併用しているときは、異なるSCSIバス間で同じSCSI-IDがあっても構いません。

● SCSI-IDは出荷時に5に設定されています。

● 複数のSCSI機器と併用するときは、SCSI-IDが他のSCSI機器と重複しないように変更してください。

● SCSI-IDは0～6の範囲で設定してください。7は通常SCSIインターフェースが使用します。0から順に1、2、3...と連続して設定することをおすすめします。

⚠注意 芯が折れたり、砕けた芯の粉末が発生する鉛筆などの筆記具は使用しないでください。

4 システム全般

⚠注意 パソコンおよびDVDドライブは精密機器です。巻頭の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ず参照してください。

● 取り付け作業をするときは、必ずパソコン本体と周辺機器のマニュアルを参照してください。

● 取り付け作業を始める前に、必ずパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。

● 大切なデータを守るため、パソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにする前にアプリケーションをすべて終了し、ハードディスクなどに記録されているデータを他のメディア（フロッピーディスクなど）に保存してください。

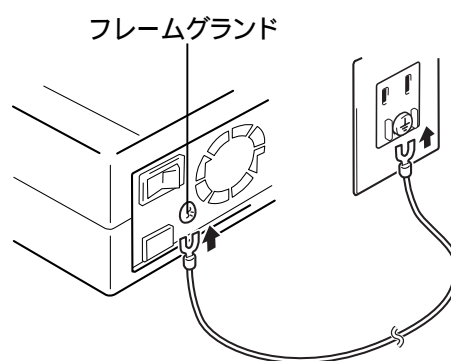
次のページへ続く

● **取り付け作業を始める前に、次の物を用意してください。**
- 本製品および付属品
- パソコンと周辺機器のマニュアル

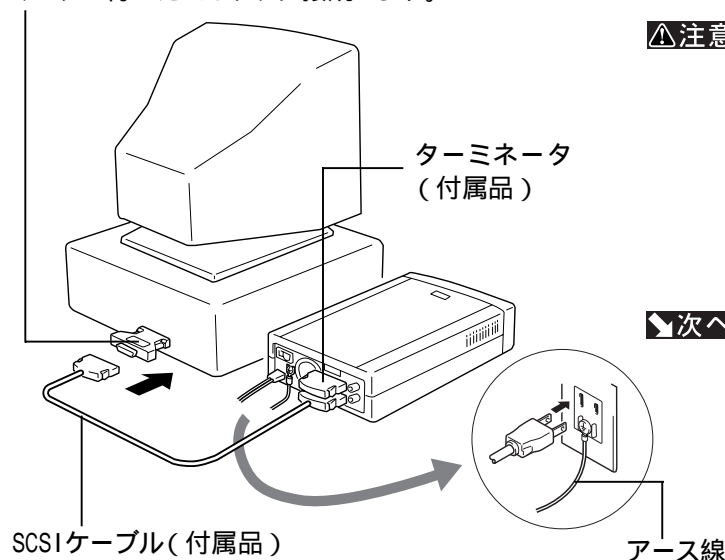
● **Ultra SCSIインターフェースに複数のSCSI機器を接続するとき**
システムの動作が不安定になる場合があります。その場合は、次の方法で回避できることがあります。
- Ultra SCSI対応機器をデイジーチェーンの終端、またはその近くに接続する
- できるだけ短いSCSIケーブルでSCSI機器を接続する
- 接続しているSCSI機器の電源スイッチをすべてONにする

以上の作業を行っても回避できないときは、接続するSCSI機器の台数を減らしてください。

メモ **Ultra SCSIインターフェースに複数のSCSI機器を接続した場合、データをやり取りするタイミングが厳密になるため、動作が不安定になることがあります。**

● **アースの接続について**
- パソコンに接続するすべての機器（プリンタやSCSI機器など）に、アース線を別途用意し、接続してください。また、アースを接続しないで使用すると、漏電による故障や感電のおそれがあります。
- SCSIケーブルや電源ケーブルを接続する前にアースを接続してください。
- アース線はガス管や水道管には接続しないでください。火災や漏電のおそれがあります。

接続のしかた

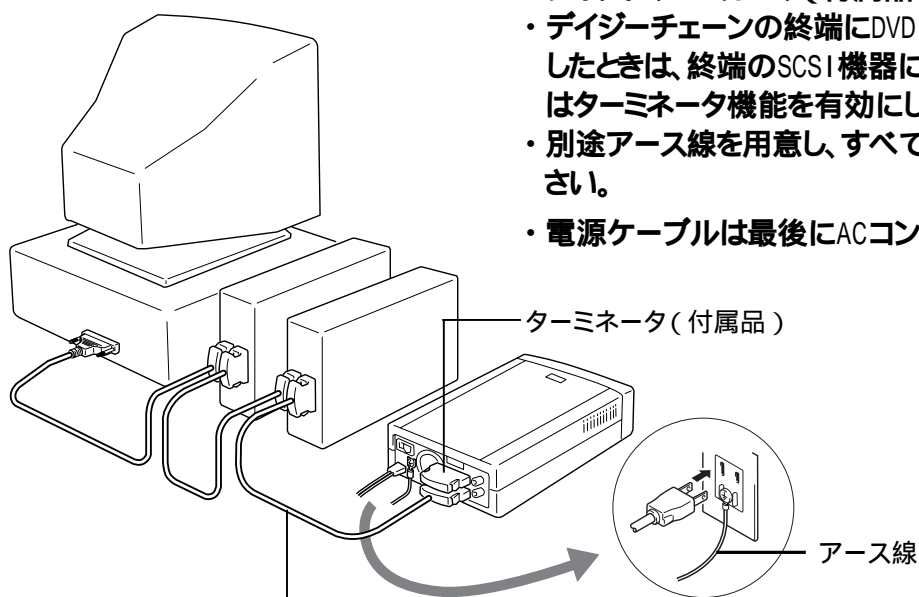
注意 **事前にパソコンと周辺機器の電源スイッチをすべてOFFにしてください。**

DVDドライブだけを接続する

*** SCSI非搭載モデルの場合は、別途SCSIインターフェースボード（弊社製IFC-WSPAなど）が必要です。**

注意
- **ターミネータ（付属品）を必ず取り付けてください。**
- **別途アース線を用意し、すべての機器にアースを接続してください。**
- **電源ケーブルは最後にACコンセントに接続してください。**

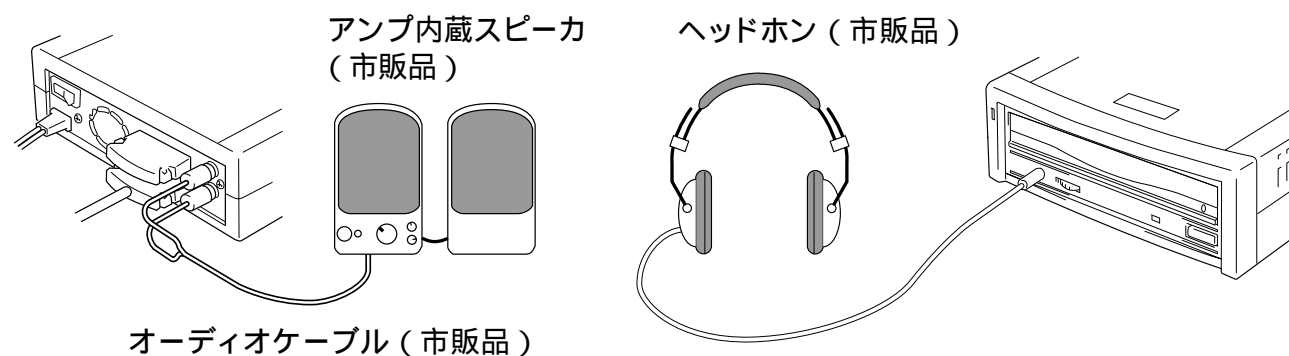
次へ **付属のソフトウェア「DVD-RAM TuneUp」をインストールします。【P14】**

複数のSCSI機器を接続する

⚠注意
- デイジーチェーンの終端にDVDドライブを接続したときは、DVDドライブにターミネータ（付属品）を必ず取り付けてください。
- デイジーチェーンの終端にDVDドライブ以外のSCSI機器を接続したときは、終端のSCSI機器にターミネータを取り付けて（またはターミネータ機能を有効にして）ください。
- 別途アース線を用意し、すべての機器にアースを接続してください。
- 電源ケーブルは最後にACコンセントに接続してください。

SCSIケーブル（付属品）
接続する機器のSCSIコネクタがD-subフルピッチ25ピン凹のときは、付属の変換コネクタを使用してください。

↘次へ 付属のソフトウェア「DVD-RAM TuneUp」をインストールします。【P14】

オーディオ機器との接続

DVDドライブとオーディオ機器を接続すれば、音楽CDの演奏を楽しめます。

⚠注意 大きな音量で長時間ヘッドホンを使用すると聴覚障害の原因となります。ご注意ください。

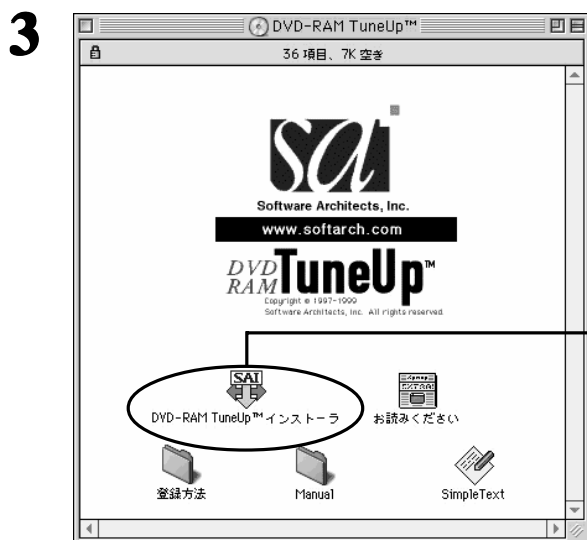
音楽CDの操作をするには、[アップルメニュー] ー [CDオーディオリモート] を選択します。操作方法はヘルプを参照してください。

DVD-RAM TuneUpのインストール

⚠注意 DVD-RAM TuneUpは、DVDドライブを使用するために必要なソフトウェアです。必ずインストールしてください。

1 周辺機器（DVDドライブを含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにします。

2 DVDドライブ付属の「DVD-RAM TuneUp CD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。

3

①［DVD-RAM TuneUp インストーラ］アイコンをダブルクリックします。

② インストーラが起動したら、以降は画面の指示に従って操作します。

以上でインストールは完了です。

メモ
- DVD-RAM TuneUp CD-ROM内の［お読みください］ファイルに、DVD-RAM TuneUpに関する情報が記載されています。必ずお読みください。
- DVD-RAM TuneUp CD-ROM内の［Manual］フォルダに、DVD-RAM TuneUpの電子マニュアルが収録されています。DVD-RAM TuneUpの詳しい操作方法は、電子マニュアル（PDFファイル）を参照してください。
- 電子マニュアル（PDFファイル）を見るには、Adobe社製Acrobat Readerがパソコンにインストールされている必要があります。Acrobat Readerをインストールするときは、DVD-RAM TuneUp CD-ROM内の［Manual］ー［Adobe Acrobat Reader］フォルダ内の［Installer］アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従って操作してください。

使いかた

メディアの取り扱い方法とDVDドライブの操作方法を説明しています。

メディアの取り扱い

● 取り扱い時の注意事項は、巻頭の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を参照してください。

● 使用しないときは、専用のケースに入れて保管してください。

● DVD-RAMメディアやPDカートリッジは、定期的にバックアップしてください。

● DVD-RAMメディアやPDカートリッジは、記録されているデータを保護するために書き込みを禁止できます。

<DVD-RAMメディア>

<PDカートリッジ>

※ 両面タイプのDVD-RAMメディアの場合、このスイッチは両面にあります。

DVDドライブの操作

● **メディアをセットする**

イジェクトボタンを押してトレーを出し、メディアを差し込みます。

<DVD-RAM、PD>

・ **両面メディアの場合**

読み出し／書き込みをしたい面(A面なら「ASIDE」と書かれた面)を上に向けて差し込みます。

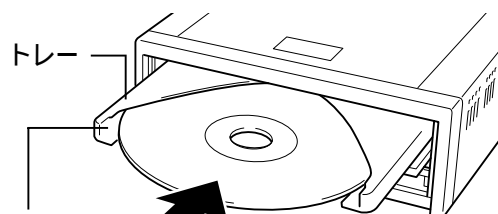
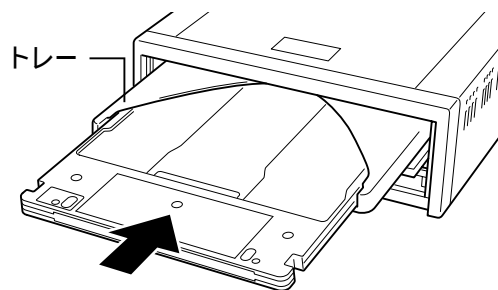
・ **片面メディアの場合**

文字の書かれている面を上に向けて差し込みます。

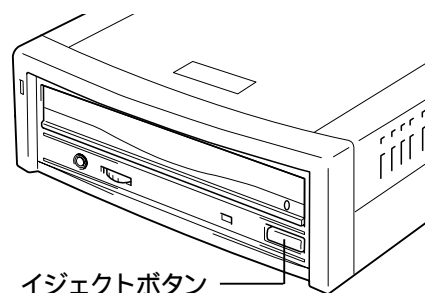
<DVD-ROM、CD>

タイトルや絵の描かれている面を上に向けて差し込みます。

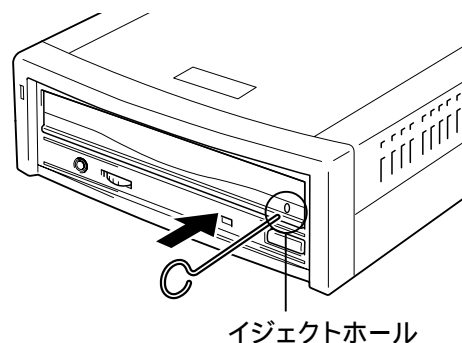
※8cmCD(シングルCD)を再生するときは、市販のアダプタを購入してください。

3 使いかた

● メディアを取り出す

デスクトップ上に表示されているメディアのアイコン（アイコンはメディアの種類によって異なります）をゴミ箱にドラッグアンドドロップすると、トレーが出ます。
メディアを取り出したら、イジェクトボタンを押してトレーを収納します。

メモ DVDドライブがマウントされているとき（メディアのアイコンがデスクトップに表示されているとき）は、DVDドライブのイジェクトボタンを押してもトレーは出ません。DVDドライブがマウントされていないときやDVDドライブがパソコンに接続されていないときは、イジェクトボタンを押してトレーを出せます。

● メディアが出てこないとき

停電などによってメディアが入ったままの状態で電源が切れると、トレーが排出されなくなってしまいます。
その場合は、付属のイジェクトピンをイジェクトホールに差し込んで、強制的にメディアを取り出します。

⚠注意 この操作は、DVDドライブの電源スイッチをOFFにして30秒以上経ってから行ってください。電源スイッチをOFFにした直後はDVDドライブ内でメディアが回転しているため、強制的に排出するとメディアが破損するおそれがあります。

DVD-RAMメディア、PDカートリッジのフォーマット

未フォーマットのDVD-RAMメディアやPDカートリッジは、フォーマットしてからでないとデータを書き込めません。

メモ
- 両面メディアの場合、フォーマット／読み出し／書き込みなどはメディアの向きを入れ替えながら片面ずつ行います。一度に両面にアクセスすることはできません。
- フォーマット後のメディアの空き容量は次のようになります。
  DVD-RAMメディア：　約2.3GB
  PDカートリッジ：　約633MB
- DVD-RAM TuneUpの詳しい操作方法は、DVD-RAM TuneUp CD-ROM内の［Manual］フォルダに収録されている電子マニュアルを参照してください。

1 周辺機器（DVDドライブを含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにします。

2 パソコンが起動したら、DVD-RAM TuneUpをインストールしたフォルダを開きます。

3 フォルダ内の［DVD-RAM TuneUp］アイコンをダブルクリックします。

DVD-RAM TuneUpが起動します。

次のページへ続く

⚠注意 ・DVDドライブにメディアをセットする前に必ずDVD-RAM TuneUpを起動し、DVDドライブのSCSI-IDをクリックしてください。

DVD-RAM TuneUpを起動していない場合、DVDドライブに未フォーマットのメディアをセットすると、Mac OSに標準で付属しているフォーマッタが起動します。その場合は［取り出し］ボタンをクリックしてメディアを取り出し、DVD-RAM TuneUpを起動してから再度メディアをDVDドライブにセットしてください。

・フォーマットすると、メディアに記録されているデータはすべて消去されます。フォーマットしてもよいメディアか、事前に必ず確認してください。

4

① DVDドライブを接続しているSCSIバスを選択します。

② DVDドライブのSCSI-IDをクリックします。
※ 薄いグレー表示のSCS-IDは、機器が接続されていないか、DVD-RAM TuneUpのサポートしていない機器が接続されていることを表します。

③ DVDドライブにメディアをセットします。

④ パーティションタイプ（フォーマット形式）を選択します。

[Mac OS標準]（HFS）
Mac OS8.1より前のシステムでも使用できます。

[Mac OS拡張]（HFS+）
HFSより効率の良いファイル管理ができます。 Mac OS8.1より前のシステムでは使用できません。

[空き領域]
パーティション（領域）を未使用の状態にします。

[UDF]
DVD-RAMメディアの標準的なフォーマットタイプです。 UDFでフォーマットしたDVD-RAMメディアは、Write DVD!（ソフトウェアアーキテクツ社製）をインストールしたWindows環境でも使用できます。

⑤ フォーマットを実行します。

※ 容量表示をマウスでドラッグすることで、複数のパーティションに分割してフォーマットできます。

＜各パーティションタイプとメディアの対応＞

パーティションタイプ ＼ メディア	DVD-RAM	PDカートリッジ
Mac OS標準	○	○
Mac OS拡張	○	○
UDF	○	－

○：対応　　－：非対応

⚠注意 フォーマットするには、 パーティションタイプを変更する必要があります。 同じパーティションタイプでフォーマットし直すには、 一度パーティション（領域）を空き領域（未使用の状態）にしてからフォーマットする必要があります。
（例：UDF→空き領域→UDF）

以上でフォーマットは完了です。

3
使いかた

その他の機能

DVD-RAM TuneUpが持つその他の機能について説明します。

● マウント／アンマウント

［マウント］／［アンマウント］ボタンをクリックすることで、DVDドライブにセットしたメディアをマウント／アンマウントできます。

● メディアの検査

メディアに不良ブロックがないか検査できます。検査したいメディアをDVDドライブにセットして、［テスト］ボタンをクリックしてください。

● DVDドライブのキャッシュ設定

DVDドライブのパフォーマンスを向上させるために、キャッシュのサイズなどを設定できます。
DVD-RAM TuneUpの起動中に［構成］メニューから［キャッシュのセットアップ ...］を選択し、表示されたウィンドウで設定してください。

メモ DVD-RAM TuneUpの詳しい操作方法は、DVD-RAM TuneUp CD-ROM内の［Manual］フォルダに収録されている電子マニュアルを参照してください。

● メディアのイジェクト

［イジェクト］ボタンをクリックすれば、DVDドライブにセットされているメディアをイジェクトできます。

● ロック（書き込み禁止）

指定したパーティションを書き込み禁止にできます。［ロック］チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けてください。

メモ UDF型式のパーティションは、この方法では書き込み禁止にできません。UDF型式のパーティションを書き込み禁止にするときは、次の手順で操作してください。

① ［アップルメニュー］－［コントロール パネル］－［WriteDVD!］を選択する。

② ［特別オプション］の［UDFディスクへの書き込みを禁止する］チェックボックスをクリックしてチェックマークを付ける。

データの書き込み

DVD-RAMメディアやPDカートリッジには、フロッピーディスクドライブやハードディスクドライブにデータを記録する場合と同じ方法（ファイルのドラッグ&ドロップなど）でデータを書き込めます。

※ 両面メディアの場合、フォーマット/読み出し/書き込みなどはメディアの向きを入れ替えながら片面ずつ行います。一度に両面にアクセスすることはできません。

⚠注意 リムーバブルメディア（DVD-RAMメディア、PDカートリッジを含む）内から削除したファイルは、元に戻せません。削除する前に、削除してもよいファイルかどうか十分に確認してください。

データの読み出し

ハードディスクドライブなどからデータを読み出す場合と同じ方法でデータを読み出せます。

※ 両面メディアの場合、フォーマット/読み出し/書き込みなどはメディアの向きを入れ替えながら片面ずつ行います。一度に両面にアクセスすることはできません。

※本製品はDVD-VIDEOの再生には対応していません。

4 困ったときは

DVD ドライブを使用していてトラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

現象と対処方法

主なトラブルと対処方法について説明しています。これらの確認を行っても正常に動作しないときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

電源スイッチをONにしても電源ランプが点灯しない

電源ケーブルがACコンセントに接続されていない	電源ケーブルがACコンセントに正しく接続されているか確認してください。

イジェクトボタンを押してもトレーが出てこない

電源が入っていない	電源ケーブルがACコンセントに正しく接続されているか、DVDドライブの電源スイッチがONになっているか確認してください。

メディアが入らない

メディアが正しくセットされていない	メディアがトレーに正しくセットされているか確認してください。 【P15「DVDドライブの操作」】

パソコンが起動しない

SCSI-IDが重複している	複数のSCSI機器を接続している場合は、各SCSI機器のSCSI-IDが重複していないか確認してください。各SCSI機器には異なるSCSI-IDを割り当てる必要があります。
ターミネータが取り付けられていない	デイジーチェーンの終端に接続したSCSI機器にターミネータが取り付けられているか確認してください。終端のSCSI機器には、ターミネータを接続する必要があります。 **※ ターミネータ機能を内蔵するSCSI機器を終端に接続するときは、ターミネータ機能を有効にしてください。詳しくは、SCSI機器のマニュアルを参照してください。**

パソコンから操作してもDVDドライブが動かない

電源スイッチがOFFになっている	周辺機器（DVDドライブも含む）の電源スイッチは、パソコン本体の電源スイッチをONにする前にONにしてください。
SCSIケーブルの長さの合計が制限を超えている	「SCSIケーブルとコネクタ」【P10】を参照して、使用しているSCSIケーブルの長さの合計が制限内か確認してください。

DVDドライブにターミネータが取り付けられていない	DVDドライブをデイジーチェーンの終端に接続しているときは、必ずターミネータを取り付けてください。
SCSIケーブルが正しく接続されていない	「接続のしかた」【P12】を参照して、SCSIケーブルの接続が正しいか確認してください。
DVD-RAM TuneUpがインストールされていない	DVDドライブを使用するためには、付属のDVD-RAM TuneUpをインストールする必要があります。【P14】を参照してインストールしてください。

Macintosh上でDVDドライブが認識されない（アイコンが表示されない）

DVD-RAM TuneUpがインストールされていない	DVDドライブにメディアを挿入してもメディアのアイコンが表示されないときは、DVD-RAM TuneUpが正しくインストールされていません。【P14】を参照してインストールしてください。

DVD-RAMメディア/PDカートリッジが使用できない

フォーマットされていない	データを書き込むためには、事前にフォーマットする必要があります。【P16】
正しいドライブにアクセスしていない	データを書き込んだり読み出すときは、DVD-RAMメディアまたはPDカートリッジのアイコンを開いてください。

DVD-ROMメディア、CDが使用できない

非対応のメディアを使用している	「特長」【P7】を参照して、使用可能なメディアの種類を確認してください。
正しいドライブにアクセスしていない	DVD-ROMメディアおよびCDのデータを読み出すときは、セットしたメディアのアイコンを開いてください。

スピーカから音楽CDの音声が出力されない

スピーカが正しく接続されていない	DVDドライブのオーディオ出力端子またはヘッドホン端子とスピーカが正しく接続されているか確認してください。【P13「オーディオ機器との接続」】

［初期化］ボタンをクリックしてもフォーマットが始まらない

パーティションタイプを変更していない	フォーマットするにはパーティションタイプを変更する必要があります。同じパーティションタイプでフォーマットし直すには、一度パーティション（領域）を空き領域（未使用の状態）にしてからフォーマットする必要があります。 例：UDF→空き領域→UDF

NORTON Utilities使用時にエラーメッセージが表示される

UDF形式でフォーマットされたDVD-RAMメディアに、SYMANTEC社NORTON UtilitiesのSpeed Disk、または Norton Disk DoctorをDVD-RAMメディアに実行すると、エラーメッセージが表示されます。これは、Speed Disk とNorton Disk DoctorがUDF形式のフォーマットに対応していないためです。
エラーメッセージは表示されますが、使用上は問題ありません。

アクセスランプが緑色に点滅する

動作中に異常を検出すると、DVDドライブのアクセスランプが緑色に点滅します。発生した異常の種類によって点滅の周期が異なります。

約1秒おきに3回点滅する	メディアが汚れているか、書き込み禁止になっています。市販のクリーナーで、メディアやDVDドライブのレンズをきれいにしてください。DVD-RAMメディアやPDカートリッジは、バックアップを作成した後、物理フォーマットしてください。DVD-RAMメディア、PDカートリッジとも、物理フォーマットは、DVDドライブ付属のソフトウェア「DVD-RAM TuneUp」で行います。詳しいフォーマット手順は、付属CD-ROMに収録されている電子マニュアルを参照してください。
約1秒おきに2回点滅する	メディアやDVDドライブのレンズが汚れているか、書き込み禁止になっています。市販のクリーナーで、メディアやDVDドライブのレンズをきれいにしてください。
約1秒おきに1回点滅する	DVDドライブ内部が異常に高温になっています。通風口をふさいでいる障害物を取り除き、DVDドライブの電源スイッチをOFFにしてください。その後、しばらく電源を切ったまま放置して冷却してください。

※ これらの対処を行ってもアクセスランプが点滅するときは、お買い求めの販売店、または弊社修理センターに修理をご依頼ください。

内蔵SCSI CD-ROMドライブのCD-ROMがマウントできなくなる

［Mac OS標準］（HFS）でフォーマットしたDVD-RAMメディアをDVDドライブにセットしたまま0Sを起動すると、CD-ROMがマウントされなくなることがあります。

CD-ROMがマウントできなくなったときは、DVD-RAMメディアをDVDドライブから取り出し、OSを再起動してください。

DVD-RAMメディアが排出される

BHA社のB's CDがインストールされている場合、DVD-RAMメディアをDVDドライブにセットすると「ディスクがロックされているのでディスクを初期化できませんでした」と表示され、DVD-RAMメディアが排出されてしまいます。

その場合は、次の手順でB's CDを無効にしてください。

① ［アップルメニュー］－［コントロールパネル］－［機能拡張マネージャ］を選択します。

② ［B's CD］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。

③ ［再起動］ボタンをクリックします。

4

困ったときは

DVD-RAMメディアのアイコンがCD-ROMやDVD-ROMのアイコンになってしまう

Mac OS8.1やMac OS8.0では、DVD-RAMメディアのアイコンが正しく表示されないことがあります。Mac OS8.6以降にバージョンアップすることをおすすめします。

DVD-RAM TuneUpのキャッシュ設定画面の文字が読めない

Mac OS8.5.1を搭載したPower MacintoshG3シリーズでは、DVD-RAM TuneUpのキャッシュ設定の画面が網がかかったようになってしまうことがあります。Mac OS8.6以降にバージョンアップすることをおすすめします。

CD-R/RW書き込み時のイメージ作成領域としてDVDドライブを使用できない

CD-R/RW書き込み時のイメージ作成領域には、ハードディスクドライブを使用してください。DVDドライブはイメージ作成領域としては使用できません。

アプリケーションが正常にインストールできない

DVD-RAM TuneUp のキャッシュ設定がONになっていると、アプリケーションが正常にインストールできないことがあります。
アプリケーションをインストールするときは、DVD-RAM TuneUpのキャッシュ設定をOFFにしてください（初期設定はOFFになっています）。

5 付録

製品仕様

項目		仕様
対応インターフェース		SCSI-2（シングルエンド）
平均シークタイム	DVD-RAM	120msec
	DVD-ROM	85msec
	PD	
	CD	
最大転送速度（*1）	サステンド	・DVD-RAM 1385KB/sec ・DVD-ROM 2770KB/sec（2倍速） ・PD 1141KB/sec ・CD 3000KB/sec（20倍速）
	バースト	同期 10MB/sec 非同期 5MB/sec
データバッファサイズ		2MB
外部ターミネータへの電源供給		供給する
SCSI-ID		0〜7の範囲で設定可能（出荷時設定：5） ※SCSI-ID 7は通常SCSIインターフェースが使用します
オーディオ端子		0.90Vrms 47Ω
ヘッドホン端子		0.34Vrms 32kΩ
電源		AC100V 50/60Hz
消費電力		平均8.5W 最大18.5W
動作環境	温度	5〜35°C（温度勾配 10°C/h）
	湿度	10〜80%（結露無きこと）
サイズ（W×H×D）		164×63×290（mm）
重量		1.7kg
対応パソコン（*2）		・PowerMacintoshシリーズ ・PowerMacintosh G3シリーズ
対応OS		Mac OS7.6.1以降（Mac OS8.6対応）
対応メディア		・DVD-RAMメディア片面2.6GB（タイプI、タイプII） ・DVD-RAMメディア両面5.2GB ・DVD-ROM(*3) ・DVD-R(*4)
		・PDカートリッジ
		・CD-ROM ・CD-ROM XA ・音楽CD（CD-DA）(*5) ・Photo CD ・Video CD(*6) ・CD-Extra ・CD-R ・CD-RW

*1 読み出しにくいメディアの場合、ドライブが自動的に速度を落として読み出すことがあります。

*2 SCSI非搭載モデルの場合は、別途SCSIインターフェースボード（弊社製IFC-WSPAなど）が必要です。

*3 DVD-VIDEOには対応していません。

*4 ディスクアットワンスで書き込まれたメディアにだけ対応しています。また、書き込まれた状態によっては、性能が発揮されない場合があります。

*5 CD-Gには対応していません。

*6 再生するデータによっては、別途MPEG再生ソフトウェアが必要です。

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（http://www.melcoinc.co.jp/）を参照してください。

DVD-RAM TuneUpのサポートについて

● お問い合わせ先

DVD-RAM TuneUpの操作方法や製品情報は、ソフトウェアアーキテクツ社 日本事務所までお問い合わせください。

※ 株式会社メルコでは、DVD-RAM TuneUpに関するお問い合わせにはお答えしかねます。あらかじめご了承ください。

ソフトウェアアーキテクツ社 日本事務所

電話番号： 03-3406-1875（営業関連窓口）

FAX番号： 03-3409-7095（技術関連窓口）

住所： 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-20-13第2平野ビル302

ソフトウェアアーキテクツ社 日本事務所

● ユーザー登録

必ずDVD-RAM TuneUpのユーザー登録を行ってください。ユーザー登録には2通りの方法があります。

※株式会社メルコ宛のユーザー登録はがきでは、DVD-RAM TuneUpのユーザー登録は行われません。

＜郵便＞

ユーザー登録カード（ソフトウェアアーキテクツ社）に必要事項を記入の上、ご返送ください。

＜インターネット＞

インターネットで登録するためのhtmlファイルが、付属のDVD-RAM TuneUp CD-ROMの［登録方法］フォルダに収録されています。htmlファイルをWEBブラウザで開き、必要事項を入力の上、［今登録する］ボタンをクリックしてください。

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

① 返送先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
② 平日昼間の連絡先
［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧ 発生頻度 ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器 ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬ OS(オペレーティング・システム)
［ソフト名/メーカ名/バージョン］
⑭ 製品以外の添付品 ［付属ソフトなど］

製品送付先	〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中京倉庫内33号6階 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-889-2104

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

DVD-RAM5.2G/A ユーザーズマニュアル

1999年8月19日 初版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

（ミラーサーバ　http://www.melcoinc.com/）

@nifty

MELCO Station ＜GO SMELCO＞

FAX情報

052-614-6911

情報を受け取りたいFAXの電話でダイヤルし、
音声案内に従って操作してください。
※プッシュ信号（ピ・ポ・パ音）の出るFAXを
使用してください。

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15
株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

<東　京> 03-5350-7990

月～金　9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土/祝　9:30～12:00/13:00～17:00　※日曜日を除く

<名古屋> 052-619-1188

月～金　9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）

「メルブック」シリーズ

①メモリを知ろう
②LANを知ろう
③外部記憶装置を知ろう
④Windowsを知ろう
⑤386マシンをマルチメディアパソコンにする
⑦CPUアクセラレータを知ろう
⑪イメージクリップセットとWordで年賀状をつくろう
⑫外部記憶装置をグレードアップしよう
⑬イメージクリップボードでホームページをつくろう
⑭インターネットを始めよう
⑮ミニコンポ 企業での導入事例

1冊1,000円＋送料270円　※書店では販売しておりません。

お申し込み先		
	1.インターネット	http://www.melcoinc.co.jp/qa/info3.html
	2.FAX情報	052-614-6911(BOX No.0800)
	3.郵送	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ 備品販売窓口

PY00-25089-DM10-01